

VII. AED について

1. AED とは？

AED は、Automated External Defibrillator の頭文字をとったもので、日本語訳は自動体外式除細動器といいます。小型の器械で、体外(裸の胸の上)に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈(心臓が細かくブルブルふるえて、血液を全身に送ることができない状態)を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること(電気ショック)で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。

器械の電源を入れれば音声を使い方を順に指示してくれるので、誰でもこの器械を使って救命することができます。

2. AED 操作の手順

①電源を入れると音声の指示が始まります。

*胸が汗などでぬれている場合は拭き取ってからはります。シップ薬など何かはられていたらはがします。

*ペースメーカーなど皮膚の下に何か埋め込まれている場合はそこを避けてはります(皮膚の下に硬いこぶのようなものがあります)。

*就学前のこどもには、こども用パッドか小児モードに切りかえます。ない場合はおとなと同じパッドを使います。



②電極パッドをはります。位置はパッド等にも描いてあるので、それに従います。

※パッドをはる作業中も胸骨圧迫は続けます。



③AED が自動的に心電図を解析し、音声などで指示を出します。



* AED が心電図の解析を始めたら胸部圧迫をやめ、倒れている人から離れます。

* 電気ショック後はすぐ胸部圧迫を再開します。AED はまた心電図を解析して、2分毎に電気ショックが必要か否かを指示してくるので、それに従います。

* 電気ショックが必要な場合は「電気ショックが必要です」と音声流れ、充電が始まります。充電が終わり、「ショックボタンを押してください」の音声や充電終了の連続音が流れ、ショックボタンが点滅します。「離れて」とまわりの人に注意し、誰も触れていないことを確認し、ショックボタンを押します。

3. 学内における AED の設置場所

島根県立大学出雲キャンパスでは、救急車到着までの救命措置として AED を設置しています。緊急の事態が発生しても直ちに AED が利用できるよう、学生や教職員の利用が多い「1号館1階交流ラウンジ」、「5号館図書館前」に各1台、また、スポーツ活動中に不整脈を起こす危険が高いことから「4号館1階体育館入り口」に1台の計3台設置しています。

